2026 年 6 月　ver. 4 .0

研究課題名	慢性疾患患者における BIA 法、DXA 法を用いた体組成測定による栄養状態の評価及び身体的特徴の解明
研究の意義・目的	人の体は筋肉、脂肪、骨、血液など様々なものから構成されています。年齢に応じて体の構成組成は変化し、一般には肥満例では脂肪が多く、糖尿病や高血圧などの疾患と関連することが報告されています。様々な報告から体組成が栄養状態の指標となること、特定の疾患や状況において重症度や予後とも関連する指標となることもわかってきております。 今回私達はこれら情報をもとに、小児科で通院中もしくは診療を受けていた方々を対象としてInBodyという体組成計、骨塩定量検査の際に使用されるDXA法を用いて体組成を測定し、栄養状態の評価を行うのみならず、これまで病態のわかっていない様々な疾患の特徴に関連する病態を明らかにし、積極的な治療を可能とすることを目的とします。 本研究は大阪公立大学、国立病院機構大阪刀根山医療センター、和泉市立総合医療センターが行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日」～　2029 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	疾患群として下記に記す特定の診断を受け、上記医療機関へ通院もしくは入院され、慢性疾患に該当する患者。これらの患者ですでに小児科での診療を終え、成人科でフォローされている例も含みます。 （特定の診断とは、神経筋疾患、先天性代謝異常症、低出生体重児、ホルモン分泌異常症、炎症性腸疾患、アレルギー疾患、染色体異常症、先天異常症候群、悪性腫瘍患者、集中治療を要する重症患者、肥満症を示します。） その他、神経内科通院中の神経筋疾患、整形外科通院中の側湾症、産婦人科通院中の妊娠予定者、妊娠後、出産後の方、小児外科で手術予定の方。 また、対照群として慢性疾患に該当しない人（外来通院中もしくは入院中の患者を含む）、本計画書Ver4.0の機関の長の研究実施許可日前までに検査を実施した方 を含みます。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ①　患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、栄養摂取状況。 ②　血液検査結果：一般血液検査結果(赤血球数、白血球数、AST 、ALT 、血清クレアチニン、総蛋白、アルブミン、プレアルブミン、レチノール結合タンパク、トランスフェリンなどのうちで測定されているもの) ③　画像検査結果：実施されたレントゲン、CT、 MRI 検査結果。 ④　InBody の結果として、体成分分析、筋肉・脂肪、肥満指標、部位別筋肉量、部位別水分量、栄養の指標となる PhA, ECW/TBW を測定する。 ⑤　DXA 測定結果
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科　発達小児医学　研究責任者　四田　典克 国立病院機構大阪刀根山医療センター 小児神経内科　齋藤　利雄 和泉市立総合医療センター　小児科　坂東　賢二
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

場合	
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科　発達小児医学 （担当者氏名）濱崎　考史 電話番号：(06) 6645-3816 国立病院機構大阪刀根山医療センター 小児神経内科 （担当者氏名）齋藤　利雄 電話番号：(06) 6853-2001 和泉市立総合医療センター 小児科 （担当者氏名）坂東　賢二 電話番号：(0725) 41-1838